



学校便り

昴 すばる

令和3年度 第2号

令和3年4月30日 通算第62号

東京都立文京盲学校校長 木村 利男

設置学科 = 普通科(高等学校に準ずる教育等)

専攻科(保健理療科・理療科)

「挨拶はコミュニケーションのはじまり」

副校長 近藤 美紀

職員室で仕事をしていることが多い私は、毎朝、職員室に日計表の仕事で来る生徒達と挨拶を交わします。

「失礼します。〇年〇組 〇〇です。日計表をお願いします。」と元気よく挨拶をしてくれる生徒がいます。「〇〇さん、おはようございます。」と言葉を掛けると、大きな声で返事を返してくれます。生徒の挨拶を聞くと、とても清々しい気持ちになれます。そして今日も一日がんばろうという気持ちにさせてくれています。

たとえ小さな声しかでなくても、自分から言えるようになってきたり、きちんとお辞儀ができるようになってきたりなど、一人一人の段階に応じた挨拶ができるようになってきています。

時にはポケットに手を入れたまま、「〇〇先生いますか？」という生徒もいます。そのような時は、やり直しをしてもらっています。もし自分が、ポケットに手を入れたままの人に話し掛けられたら、どんな思いをしますか？どのような印象をもちますか？自分が嫌な思いをすることは、相手も嫌な思いをしています。挨拶でその人の印象も決まります。どのようなことでも、一朝一夕にはいきません。ある日突然できるようにはなりません。どのようなことも毎日の積み重ねが大切です。実習先で、あるいは卒業後の生活で困ることがないように、日頃から取り組みましょう。

「おはようございます。」「いただきます。」「ごちそうさま。」「行ってきます。」「こんにちは。」「こんばんは。」「さようなら。」「ただいま。」「おやすみなさい。」等々……。

人は、朝目覚めてから夜寝るまで、一日の中でたくさんの挨拶を交わします。それらの挨拶で、「今日も元気そうだな」「あれ？疲れているのかな？」「何か悩み事でもあるのかな？」「機嫌が悪いみたい」等々といった、その人の印象が決まります。

挨拶は、コミュニケーションのはじまりです。気持ちの良い挨拶を心掛けてみませんか？

保護者の皆様に学校からのお願い

◎御来校時は、名札を付けてください。

◎職員室では個人情報扱っております。PTA連絡箱の文書受け取り以外の入室にあたっては、必ずお声かけください。また用件は入口にてお知らせください。

お問い合わせは以下の電話番号へ

「入学について」「見え方」など様々な御相談、御質問は代表電話へ

03(3811)5714 (特別支援教育コーディネーターまたは副校長)



文京盲学校ホームページ

<http://www.bunkyo-sb.metro.tokyo.jp/site/zen/index.html>



Twitter
@bunkyomou